

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.

2905

科目概要記入欄

1. 開設大学	島根県立大学		開催方法	■対面（ 浜田キャンパス ）		
				□オンライン（同時・録画・資料提示）		
				□その他（ ）		
	2. 正式科目名 副題	政策過程論			配当年次	2・3
				受入学年	2・3・4	
	学問分野	番号	27	名称	社会科学系 その他	
3. 担当教員名	奥田 恒					
4. 単位数	2単位		5. 開講学期	前期集中		
6. 開講期間 曜日・時間	2026 年 9 月 2 日（水）～ 2026 年 9 月 5 日（土） 水曜日～土曜日 : ~ :					
7. 基礎知識の有無	・「基礎知識を必要としない科目」					
8. 募集人数	若干名		9. 選考方法	書類選考		
10. 科目内容・ 授業計画	本授業では、政策が立案・決定・実施・評価される過程を動的に解説する。政策の立案や決定に影響を及ぼす様々なアクターの存在や制度の分析などを通じ、政治のプロセスのなかで、政策がどのように具体化され、実施に移されていくのかについても解説する。 ・国や地方自治体における課題発見のされ方、政策が立案・決定される過程、さらに政策が実施・評価される過程と方法について理解することができる。 ・政策過程および政策の内容について、「規範的観点」「記述的観点」の双方から理解を試みることができる。 ・さまざまな媒体から政策過程への含意を読み取り、自分なりに論じることができる。 第1回：政策過程とは何か 第2回：目的設定①：問題発見 第3回：目的設定②：政策と規範 第4回：映像資料と小課題① 第5回：映像資料と小課題② 第6回：政策形成①：政策手段 第7回：政策形成②：規範的判断 第8回：政策形成③：合意形成 第9回：映像資料と小課題③ 第10回：政策決定 第11回：政策実施①：なぜ実施を学ぶのか 第12回：政策実施②：第一線公務員 第13回：映像資料と小課題④ 第14回：政策評価①：業績測定とプログラム評価 第15回：政策評価②：さまざまな政策評価 第16回：試験					
11. 試験・評価方法	小課題：40%（10%×4回） 試験：60% コメントを通じた授業貢献：追加的な加点を行う。					
12. 別途負担費用	秋吉貴雄、伊藤修一郎、北山俊哉（2020）『公共政策学の基礎 第3版』有斐閣。					
13. その他特記事項	【参考文献】 石橋章市朗、佐野亘、土山希美枝、南島和久（2018）『公共政策学』ミネルヴァ書房。					
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ				可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ				可	否